



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 ホシデン株式会社

上場取引所 東

コード番号 6804 URL <https://www.hosiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古橋 健士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室担当 (氏名) 本保 信二

TEL 072-993-1010

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

2019年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	100,040	26.4	5,664	0.8	5,179	43.4	4,461	36.2
2019年3月期第2四半期	135,995	3.5	5,712	3.5	9,157	37.3	6,991	20.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 3,682百万円 (43.3%) 2019年3月期第2四半期 6,497百万円 (8.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	76.32	71.11
2019年3月期第2四半期	117.58	109.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	159,703	96,856	60.6
2019年3月期	133,470	94,113	70.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 96,856百万円 2019年3月期 94,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		15.00	25.00
2020年3月期		10.00			
2020年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	245,000	5.0	8,000	30.2	8,000	40.1	6,000	44.0	102.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想における為替レートにつきましては、1米ドル111円を前提としております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	67,710,084 株	2019年3月期	67,710,084 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	9,252,675 株	2019年3月期	9,252,057 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	58,457,742 株	2019年3月期2Q	59,458,432 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現在入手可能な情報による当社の判断に基づく将来の予測であり、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。さまざまな潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績はさまざまな重要な要素により、記載された見通しと大きく異なる可能性もあり、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。なお、業績予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、添付資料の2ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
3. 補足情報	8
セグメント別販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月～2019年9月)の世界経済は、米国では良好な雇用環境を背景に個人消費は堅調に推移しておりますが、製造業を中心に景況感は低下しております。欧州でも、製造業を中心に景気の減速傾向が継続しており、着地点の見通せないブレグジットが不透明感を増しております。また、中国では、内需の回復が遅れているうえ、米中貿易摩擦の影響により、輸出入とも低調に推移し、景気は減速傾向になっております。日本経済につきましては、個人消費は堅調なもの、企業の景況感は低下傾向であり、景気回復に足踏み感があります。当社グループの属する電子部品業界におきましては、自動車関連向けは、電子化を背景に搭載点数は増加しているものの、中国を中心に販売台数にはブレーキがかかっております。また、スマートフォン関連向けにつきましても、買い替えサイクルの長期化により市場は低迷しております。産業機器関連向けにつきましても、設備投資抑制に伴い低迷が続いております。

このような状況の下で、当社グループでは、自動車関連向けは伸長したものの、アミューズメント関連向け及び移動体通信関連向けは大幅に減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は100,040百万円(前年同期比26.4%減)、営業利益は5,664百万円(前年同期比0.8%減)、経常利益は為替相場変動に伴う為替差損(549百万円)を計上し、5,179百万円(前年同期比43.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,461百万円(前年同期比36.2%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの売上高の状況は次のとおりであります。

機構部品につきましては、アミューズメント関連向け、移動体通信関連向けが減少したことにより、83,778百万円(前年同期比30.1%減)となりました。

音響部品につきましては、自動車関連向け、移動体通信関連向けが減少したことにより、7,998百万円(前年同期比9.6%減)となりました。

表示部品につきましては、自動車関連向けが増加したことにより、4,533百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

複合部品その他につきましては、健康機器関連向けが増加したことにより、3,729百万円(前年同期比32.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、有価証券が減少したものの、売上債権、たな卸資産の増加等により前連結会計年度末比26,232百万円増の159,703百万円となりました。又、負債につきましては、仕入債務の増加等により前連結会計年度末比23,489百万円増の62,847百万円となりました。

なお、純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比2,742百万円増の96,856百万円となり、自己資本比率は60.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比10,300百万円減の57,760百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は6,989百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5,478百万円、売上債権の増加13,873百万円、たな卸資産の増加21,168百万円、仕入債務の増加24,659百万円、によるものであります。

投資活動による資金の減少は、1,786百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,211百万円によるものであります。

財務活動による資金の減少は、969百万円となりました。これは主に、配当金の支払876百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日に「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。本日公表いたしました「業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。また、今後の為替レートにつきましては、従来通り1米ドル111円を前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,863	51,083
受取手形及び売掛金	21,687	34,527
有価証券	16,300	8,000
商品及び製品	7,544	7,547
仕掛品	1,558	2,300
原材料及び貯蔵品	8,285	28,163
その他	3,637	5,064
貸倒引当金	△25	△28
流動資産合計	112,851	136,658
固定資産		
有形固定資産	14,260	16,701
無形固定資産	367	356
投資その他の資産		
投資有価証券	4,390	4,064
その他	2,010	2,213
貸倒引当金	△410	△290
投資その他の資産合計	5,991	5,987
固定資産合計	20,619	23,044
資産合計	133,470	159,703

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,168	37,403
短期借入金	2,768	2,516
未払法人税等	1,837	1,388
その他	4,271	4,941
流動負債合計	23,046	46,249
固定負債		
新株予約権付社債	10,116	10,105
退職給付に係る負債	4,332	4,330
その他	1,862	2,162
固定負債合計	16,310	16,597
負債合計	39,357	62,847
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,660	13,660
資本剰余金	19,596	19,596
利益剰余金	69,881	73,403
自己株式	△8,660	△8,661
株主資本合計	94,477	97,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,950	1,948
為替換算調整勘定	△2,548	△3,293
退職給付に係る調整累計額	232	201
その他の包括利益累計額合計	△364	△1,143
純資産合計	94,113	96,856
負債純資産合計	133,470	159,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	135,995	100,040
売上原価	124,836	89,438
売上総利益	11,158	10,601
販売費及び一般管理費	5,446	4,936
営業利益	5,712	5,664
営業外収益		
受取利息	73	103
受取配当金	50	57
為替差益	3,330	—
その他	61	80
営業外収益合計	3,515	241
営業外費用		
支払利息	64	63
為替差損	—	549
その他	5	112
営業外費用合計	70	726
経常利益	9,157	5,179
特別利益		
固定資産売却益	2	4
投資有価証券売却益	—	313
子会社清算益	240	—
その他	4	11
特別利益合計	247	329
特別損失		
固定資産除売却損	0	16
投資有価証券評価損	—	14
特別損失合計	0	31
税金等調整前四半期純利益	9,404	5,478
法人税、住民税及び事業税	1,497	895
法人税等調整額	915	121
法人税等合計	2,413	1,016
四半期純利益	6,991	4,461
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,991	4,461

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	6,991	4,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70	△2
為替換算調整勘定	△524	△745
退職給付に係る調整額	△38	△31
その他の包括利益合計	△493	△778
四半期包括利益	6,497	3,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,497	3,682
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,404	5,478
減価償却費	1,483	1,413
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,484	△13,873
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,026	△21,168
営業未収入金の増減額 (△は増加)	△270	△354
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,616	24,659
その他	601	△1,738
小計	△6,908	△5,584
利息及び配当金の受取額	107	152
利息の支払額	△64	△64
法人税等の支払額	△1,278	△1,713
法人税等の還付額	34	220
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,109	△6,989
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△1,063	380
有形固定資産の取得による支出	△2,262	△3,211
投資有価証券の売却による収入	—	621
その他	103	423
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,223	△1,786
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,453	△37
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△891	△876
その他	△5	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,351	△969
現金及び現金同等物に係る換算差額	94	△554
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,589	△10,300
現金及び現金同等物の期首残高	52,405	68,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,816	57,760

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

在外連結子会社

(IFRS第16号「リース」の適用)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」(2016年1月公表)を適用しております。これにより、借手としてのリース取引については、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しております。

本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の有形固定資産が259百万円増加、流動負債のその他が80百万円増加、固定負債のその他が241百万円増加、利益剰余金が62百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及びキャッシュ・フローに与える影響は軽微であります。

3. 補足情報

セグメント別販売実績

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間	
	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	
セグメントの名称	金額 (百万円)	構成比
機構部品	83,778	83.8%
音響部品	7,998	8.0%
表示部品	4,533	4.5%
複合部品その他	3,729	3.7%
合計	100,040	100.0%